

横手城南高等学校アクティブボランティア第1弾！

## 山内三又地区 田植えボランティア



5月28日（土）。昨年同様に規模を縮小して山内地区の田植えボランティアを行いました。今年は1～3年生まで、総勢27名が参加しました。数日前から天気予報では「雨」と「曇り」が入れ替わり表示され、今年も天気が一番の心配事になっていました。学校を出発前に少し雨がパラっていたのですが、出発する頃には雨が上がり、「これはなんとか田植えができるに違いない」と少しほっとしていました。

ところが、やはり山の天気は変わりやすく、山内三又地区に着いた頃には営農生産組合の方々が「もうすぐ雨が降る」と口々におっしゃっていました。遠くの山には白くて厚い雲がかかり、「あの山が白くなると雨なのよ」と教えてくれました。

それでもとりあえず全員バスで田んぼの近くまで移動し、様子を見ました。ご指導して下さった高橋さんが「11時頃には雨が降る」と推測し、それではそれまで田植えをしようと全員外に出ました。

昨年度も参加した生徒が数人おり、昨年のことを思い出しながら植え方を教わって田植えを始めました。昨年は水が張られただけの田んぼに植えたのですが、今年度はだいぶ田植えが進んでおり、生徒たちはその隙間に苗を植えて、仕上げの作業をすることになっていました。小雨が降ったり止んだりするので、雨具を着て恐る恐る裸足で田んぼに入りました。気温がだいぶ低く、始めは「キャーキャー」いいながら慣れるまで確認しながら植えていました。



昨年もあたりにはカエルが飛び跳ねていましたが、今年は水の中にも「カエル」がいたり、さらには「イモリ」も数匹いて、初めて見た生徒たちが騒いでいました。その頃ちょうど本校の卒業生である高橋さんのお孫さんも田んぼに姿を見せ、それは「アカハライモリ」というのだと教えてもらいました。

さすがに昨年度よりも参加者が多いので、どんどん仕事が進みましたがやはり雨が降り始め、雨脚が強くなってきてしまいました。まだ11時頃でしたが、残念ながら作業は終了し、高橋さんにお礼を述べて学校へと戻ってきました。

田んぼは、学校からバスで30分ほどのところにあります。初めて参加した生徒たちは、そのあまりの山深さに驚いていました。短い時間になってしまいましたが、大自然に抱かれ心地よい労働を味わうことができました。



